

令和5年7月発行

全篤連だより

No.40

発行所

(公財)全国篤志面接委員連盟

〒165-0026

東京都中野区新井3-37-2

電話 03-3389-9494

目次

令和5年度定時評議員会における 塩崎会長あいさつ	1	令和5年度第1回評議員会(定時)の 開催について	4
令和4年度第3回常任理事会の 開催について	2	令和4年度の事業報告及び決算報告	5
令和4年度第3回理事会(定時)の 開催について	2	令和5年度の正味財産増減予算書	12
令和4年度第2回評議員会(臨時)の 開催について	3	役員・評議員一覧表	14
令和5年度第1回常任理事会(臨時)の 開催について	3	令和5年度全国及び各矯正管区内 研修協議会の開催予定	15
令和5年度第1回理事会(定時)の 開催について	3	賛助会員名簿	16
		東 西 南 北	18
		全国篤志面接委員連盟理事長 室井 誠一 事務局から	20
		雑 記 帳	20

令和5年度定時評議員会における塩崎会長あいさつ



評議員の皆様には、何かとお忙しい中、評議員会にご出席いただき、ありがとうございました。

さて、本日の評議員会では、一部の評議員の方の辞任に伴う人事案のほか、令和4年度の事業報告及び収支決算等の重要案件を審議する予定となっています。短い時間ではありますが、実のある会議にしていいただければ幸いです。

ところで、当連盟の昨年度の1年間を振り返ってみますと、昨年10月には、3年ぶりに対面による第35回全国篤志面接委員大会が開催され、参加者の人数を制限した形ではありましたが、無事実施することができました。同年12月には、9回目となる初任者研修も実施し、当連盟の事業につきましては、コロナ禍の中にあっても概ね順調に運営することができたと感じております。これも、ひとえに皆様方のご協力と矯正局をはじめとする国職員のご配慮とご支援の賜物であり、厚く感謝を申し上げます。

本年度の事業も引き続き、皆様方のご支援等により円滑に実施されるものと期待をしているところであります。

本日は、年間の経費等についての収支決算報告がなされますが、審議に当たっては、どうか遠慮なく疑問や不明の点についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

最後になりますが、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため久しく制限されておりました篤志面接活動の全面的な再始動の年となることを心から期待しておりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶といたします。

令和4年度第3回常任理事会の開催について

令和5年3月22日午後3時から、法務省地下小会議室において開催され、議題として、翌日行われる理事会の審議事項についての意見交換が行われました。

令和4年度第3回理事会(定時)の開催について

令和5年3月23日午前10時30分から、法務省第1会議室において開催されました。主な議案は次のとおりです。

議案1 人事の件

- 辞任の申し出のあった千葉紘子氏の辞任（3月31日付け）と4月1日付けで予定されている国職員の異動に伴う評議員の交替人事について、原案どおり承認し、評議員会に諮ることとされた。

議案2 令和5年度事業計画及び収支予算案の件

- 新年度の事業計画とこれに必要な収支予算案（正味財産増減予算書）について、原案どおり承認された。

議案3 令和5年度以降の年会費（寄付金）の件

- 令和4年度に例年の半額とした会員からの会費（寄付金）を次年度からは元の額（一人当たり年6千円）に戻すことについて、原案どおり承認された。

議案4 記念大会準備積立資金の件

- 令和9年度に「連盟創立40周年記念大会」を開催するための準備資金として令和3年度から一定額を積み立てることとされたが、令和4年度においても100万円を積み立てることについて、原案どおり承認された。

議案5 基本財産運用の件

- 昨年10月の理事会において理事長から、現行の2つの国債による運用について、満期償還まで残り10年となったこの時期に見直し、ユーロ円建てコーラブル債による運用の検討を提案されたところ、貴重な基本財産の運用には慎重を期するべきで、可能な限りリスクのある運用は避けるべきとの理事の意見が強いため、改めて理事長から現行の運用を継続していくとの説明があり、原案どおり了

承された。

議案6 国内交流研修の件

- 毎年秋に予定されている標記研修については、新型コロナウイルス感染症の発生状況、矯正施設における終息状況等を考慮し、従来のスタイルでの実施は困難であるが、その意義を再確認し、次年度においては実施を前提として、その方法を見直すこととしたいとの説明が理事長からあり、原案どおり了承された。

議案7 次回理事会及び評議員会開催の件

- 次回理事会を5月に、評議員会を6月にそれぞれ開催することについて、原案どおり承認された。

令和4年度第2回評議員会(臨時)の開催について

令和5年3月23日午後1時から、法務省第1会議室において開催されました。主な議案は次のとおりです。

議案 人事の件

- 千葉紘子氏の辞任（3月31日付け）と4月1日付けで予定されている国職員の異動に伴う評議員の交替人事について、原案どおり承認された。

報告事項 理事会において決議された議案（前記議案2、議案5、議案7）並びに代表理事及び執行理事の職務執行状況について報告がなされた。

令和5年度第1回常任理事会(臨時)の開催について

令和5年5月23日午後3時から、法務省第1会議室において開催され、議題として、翌日開催される理事会の議案について意見交換が行われました。

令和5年度第1回理事会(定時)の開催について

令和5年5月24日午前10時から、法務省第1会議室において開催されました。主な議案は次のとおりです。

議案1 人事の件

- 3月31日付けで評議員を辞任した千葉紘子氏の後任として東京拘置所及び岐

阜刑務所で篤志面接委員として活動している落語家（真打）の古今亭菊千代（野口泰代）氏を推薦したいとの提案がなされ、原案どおり承認し、評議員会に諮ることとされた。

議案2 令和4年度の事業報告及び収支決算の件

— 監事による監査結果報告も受け、原案どおり承認され、来る6月16日の評議員会に理事会の意見として回付されることとなった。

議案3 令和5年度公益財団法人JKAの補助金を受け入れる件

— 原案どおり承認された。

なお、今年度は、10,894,000円の内示があった。

議案4 令和5年度定時評議員会召集の件

— 本年度の定時評議員会を令和5年6月16日に開催したい旨の提案について、原案どおり承認された。

議案5 その他

— 篤志面接委員研修（研究）大会テーマについては、昨年度と同様とすることが承認された。

テーマ：時代に応じた篤志面接活動の意義と役割の再発見！！

サブテーマ：これからの社会とのつながりを求めて

報告事項 代表理事及び執行理事の職務執行状況の報告

令和5年度第1回評議員会(定時)の開催について

令和5年6月16日午前10時30分から、法務省第1会議室において開催されました。主な議案は次のとおりです。

議案1 人事の件

— 欠員となっている評議員のポストに、新たに古今亭菊千代（野口泰代）氏を推薦したい旨の提案がなされ、同氏の本日付けの評議員就任について、原案どおり承認された。

議案2 令和4年度の事業報告及び収支決算の件

— 監事による監査結果報告も受け、原案どおり承認された。

報告事項 理事会において決議された議案（前記議案3）並びに代表理事及び執行理事の職務執行状況等について報告がなされた。

令和4年度の事業報告及び決算報告

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(研修事業関係)

- 1 新型コロナウイルスによる感染症の影響下にあったため参加人数を制限し、全国篤志面接委員大会（中央研修会）を3年ぶりに開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	中央研修会 令和4年10月17日(月) 法務省地下大会議室 参加者84名 (委員51名、関係者33名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「矯正の現状と課題～法改正を中心として」 法務省矯正局長 花村博文 氏 ・研究発表4名 ・パネルディスカッション 進行 連盟 阿部理事 参加者 発表者4名 国職員2名 川越少刑首席 那須昭宏 氏 多摩少首席 大門貴彦 氏

- 2 以下の3管区において矯正管区管内篤志面接委員協議会を開催し、残り5管区においては開催を中止した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
仙台	令和4年7月8日(金) 青森市 ホテル青森 参加者52名 (委員38名、関係者14名)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「加害者家族の現状と支援について」 特定非営利活動法人 World Open Heart 代表 阿部恭子 氏 ・研究発表4名 ・研究討議
東京	令和4年11月21日(月) さいたま新都心合同庁舎2号館 参加者82名 (委員74名、関係者8名)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「篤志面接委員の現状と課題～拘禁刑下において期待される役割～」 東京矯正管区成人矯正調整官 齊藤 峰 氏 ・研究発表3名 ・研究討議
大阪	(誌面による開催) 参加者 管内篤志面接委員、 関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「いのちの声に呼応するとは」 真宗大谷派僧侶 川村妙慶 氏 ・研究発表3名

3 初任者研修を3年ぶりに開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中 央	<p>初任者研修会(第9回) 令和4年12月13日(火)・ 14日(水) 法務省地下大会議室 参加者69名 (委員62名、関係者7名)</p>	<p>一日目 ・講話Ⅰ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～刑事施設を中心に～ 矯正局成人矯正課企画官 佐伯 温 氏 ・講話Ⅱ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～少年院を中心に～ 矯正局少年矯正課企画官 藤原尚子 氏 ・講話Ⅲ「篤志面接活動の歴史、制度と現在の課題」 全国篤志面接委員連盟理事長 室井誠一 ・班別討議Ⅰ 8班 ・講話Ⅳ「面接指導技術」 東京未来大学こども心理学部長 出口保行 氏 二日目 ・講話Ⅴ「篤志面接活動を経験して」 全国篤志面接委員連盟副会長 井上 廣 全国篤志面接委員連盟常任理事 佐藤良彦 ・班別討議Ⅱ 8班</p>

4 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練を実施した。(大阪管区を除く。)

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札 幌	<p>令和5年2月17日(金) 北海道グリーンランドホテルサ ンプラザ 参加者20名 (委員13名、関係者7名)</p>	<p>「樺戸集治監と北海道開拓」 月形刑務所篤志面接委員 前月形町長 櫻庭誠二 氏</p>
仙 台	<p>令和4年11月11日(金) 秋田キャッスルホテル 参加者27名 (委員23名、関係者4名)</p>	<p>「罪を犯した人の更生に向けて～心理学の視点か らの提案～」 秋田大学教育文化学部教授 北島正人 氏</p>
東 京	<p>令和5年2月14日(火) さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 共用大研修室 参加者86名 (委員79名、関係者7名)</p>	<p>「会話は、言葉のキャッチボール」 東京拘置所篤志面接委員 落語家 古今亭菊千代 氏</p>

名古屋	令和5年2月21日(火) 名古屋合同庁舎第3館7階会議室 参加者41名 (委員38名、関係者3名)	「加害者家族と加害者本人の社会内支援」 特定非営利活動法人スキマサポートセンター 理事長 佐藤仁孝 氏
広島	令和5年3月1日(水) 広島合同庁舎1号館附属棟会議室 参加者43名 (委員38名、関係者5名)	「弁護士・付添人活動と矯正施設への期待」 弁護士 中村麗子 氏 「現状の篤面の活躍の場について」 (グループ討議)
高松	令和5年2月9日(木) J Rホテルクレメント高松 参加者33名 (委員26名、関係者7名)	「マラソンが教えてくれたこと」 三井住友海上陸上部アドバイザー 土佐礼子 氏
福岡	令和5年2月6日(月) 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者53名 (委員29名、関係者24名)	「『だから』の生き方 『なのに』の生き方」 一般社団法人ヒューマンハーバーそんとく塾 原田公裕 氏 「長崎刑務所における高齢受刑者処遇及び知的障害受刑者の処遇支援モデル事業について」 福岡矯正管区 更生支援企画課長 平川勝文 氏

(表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員25名に対する法務大臣感謝状の授与に際して祝意を表した。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

(広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を令和4年7月、同5年2月に発行した。
- 3 研修大会、協議会の記録誌の出版：全国篤志面接委員大会、各管区管内篤志面接委員協議会及び初任者研修会の実施に際し記録誌を発行した。
- 4 再開された全国矯正展において専用のブースを設け、篤志面接活動に関する広報と説明を行った。

(事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。
(1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、監事による10月までの上半

期中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。

(2) ホームページを適宜更新し、連盟からの広報活動の積極化に努めた。

2 ネット環境を活用したオンライン会議（例えば常任理事会など）の開催ができるよう、その検証に努めた。

3 予算執行について

(1) 公益目的事業会計について、J K Aからの補助金が前年度とほぼ同額を内示されたところから、あらかじめ地方研修大会の開催及びその準備に必要な経費を調査した上で予算配布し、効率的・効果的な執行に努めた。(結果的には、多くの管区において地方研修大会の開催は中止となった。)

(2) 法人会計については、予算の経費節約に努めた。

(その他の事業関係)

特になし

令和4年度 正味財産増減計算書（内訳表）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	306,733	306,733	613,466
基本財産受取利息	306,733	306,733	613,466
特定資産運用益	20	0	20
特定資産受取利息	20	0	20
受取補助金等	3,741,214	0	3,741,214
受取民間補助金	3,741,214	0	3,741,214
受取寄付金	6,178,000	2,868,000	9,046,000
受取寄付金	6,178,000	2,868,000	9,046,000
雑収益	0	2,322	2,322
受取利息	0	50	50
雑収益		2,272	2,272
経常収益計	10,225,967	3,177,055	13,403,022
(2) 経常費用			
事業費	12,923,363		12,923,363
役員報酬	450,785		450,785
給料手当	2,707,481		2,707,481
臨時雇賃金	45,639		45,639
退職給付費用	172,200		172,200
法定福利費	370,994		370,994
地方研修委託費	4,624,924		4,624,924
会議費	134,992		134,992
旅費交通費	1,900,495		1,900,495
通信運搬費	268,647		268,647
消耗品費	17,166		17,166
印刷製本費	1,253,835		1,253,835
賃借料	124,944		124,944
諸謝金	55,685		55,685
速記費	100,100		100,100
表彰費	107,606		107,606
広報費	566,400		566,400
支払手数料	11,470		11,470
雑費	10,000		10,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
管理費		5,042,359	5,042,359
役員報酬		1,278,084	1,278,084
給料手当		1,160,349	1,160,349
臨時雇賃金		21,000	21,000
退職給付費用		73,800	73,800
法定福利費		158,997	158,997
福利厚生費		11,812	11,812
会議費		51,100	51,100
旅費交通費		1,795,100	1,795,100
通信運搬費		68,001	68,001
慶弔費		7,860	7,860
消耗什器備品費			0
消耗品費		7,357	7,357
修繕費			0
印刷製本費		52,250	52,250
賃借料		53,548	53,548
諸謝金		165,000	165,000
租税公課		2,250	2,250
支払手数料		65,135	65,135
雑費		70,716	70,716
経常費用計	12,923,363	5,042,359	17,965,722
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,697,396	△ 1,865,304	△ 4,562,700
基本財産評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額			△ 4,562,700
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額			△ 4,562,700
一般正味財産期首残高			229,675,019
一般正味財産期末残高			225,112,319
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高			225,112,319

令和4年度 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,215,468	23,965,522	△ 2,750,054
前払金	302,275	0	302,275
流動資産合計	21,517,763	23,965,522	△ 2,447,759
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	198,567,465	201,441,499	△ 2,874,034
基本財産合計	198,567,465	201,441,499	△ 2,874,034
(2) 特定資産			
記念大会準備積立資金	2,000,000	1,000,000	1,000,000
特定資産合計	2,000,000	1,000,000	1,000,000
(3) その他の固定資産			
長期貸付金	3,100,000	3,400,000	△ 300,000
その他の固定資産合計	3,100,000	3,400,000	△ 300,000
固定資産合計	203,667,465	205,841,499	△ 2,174,034
資産合計	225,185,228	229,807,021	△ 4,621,793
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	39,777	99,277	△ 59,500
預り金	33,132	32,725	407
流動負債合計	72,909	132,002	△ 59,093
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	72,909	132,002	△ 59,093
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	225,112,319	229,675,019	△ 4,562,700
(うち基本財産への充当額)	(198,567,465)	(201,441,499)	(△ 2,874,034)
正味財産合計	225,112,319	229,675,019	△ 4,562,700
負債及び正味財産合計	225,185,228	229,807,021	△ 4,621,793

令和5年度の正味財産増減予算書

令和5年度 正味財産増減予算書（総括表）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	605,592	613,466	△ 7,874
基本財産受取利息	605,592	613,466	△ 7,874
特定資産運用益	1,000	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	1,000
受取補助金等	9,400,000	9,400,000	0
受取民間補助金	9,400,000	9,400,000	0
受取寄付金	12,500,000	8,560,000	3,940,000
受取寄付金	12,500,000	8,560,000	3,940,000
雑収益	51,000	51,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	22,557,592	18,624,466	3,933,126
(2) 経常費用			
事業費	19,787,000	16,390,000	3,397,000
役員報酬	452,000	452,000	0
給料手当	2,700,000	2,548,000	152,000
臨時雇賃金	100,000	100,000	0
退職給付費用	173,000	163,000	10,000
法定福利費	371,000	366,000	5,000
地方研修委託費	9,000,000	7,600,000	1,400,000
会議費	150,000	100,000	50,000
旅費交通費	3,450,000	2,450,000	1,000,000
通信運搬費	300,000	300,000	0
消耗品費	70,000	70,000	0
印刷製本費	1,350,000	850,000	500,000
賃借料	140,000	140,000	0
諸謝金	220,000	120,000	100,000
速記費	120,000	120,000	0
表彰費	200,000	200,000	0
広報費	835,000	655,000	180,000

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払手数料	100,000	100,000	0
雑費	56,000	56,000	0
管理費	5,652,500	5,108,500	544,000
役員報酬	1,325,000	1,325,000	0
給料手当	1,160,000	1,092,000	68,000
退職給付費用	74,000	71,000	3,000
法定福利費	160,000	157,000	3,000
福利厚生費	12,000	10,000	2,000
会議費	300,000	200,000	100,000
旅費交通費	1,800,000	1,464,500	335,500
通信運搬費	200,000	200,000	0
慶弔費	50,000	50,000	0
消耗品費	30,000	30,000	0
印刷製本費	50,000	40,000	10,000
賃借料	60,000	60,000	0
諸謝金	200,000	200,000	0
租税公課	5,000	5,000	0
支払手数料	100,000	100,000	0
雑費	126,500	104,000	22,500
経常費用計	25,439,500	21,498,500	3,941,000
当期経常増減額	△ 2,881,908	△ 2,874,034	△ 7,874
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,881,908	△ 2,874,034	△ 7,874
一般正味財産期首残高	215,274,701	218,148,735	△ 2,874,034
一般正味財産期末残高	212,392,793	215,274,701	△ 2,881,908
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	212,392,793	215,274,701	△ 2,881,908

役員・評議員一覧表

令和5年6月16日現在

区 分	理事・監事	評 議 員
会 長 副 会 長		塩 崎 恭 久 福 田 紀 夫 井 上 廣 大 川 哲 次 前 田 直 子
理 事 長 副 理 事 長 常 任 理 事 (札幌) (仙台) (東京) (名古屋) (大阪) (広島) (高松) (福岡)	室 井 誠 一 松 田 美 智 子 小 林 順 吾 徳 力 賢 隆 佐 藤 良 彦 東 松 磐 樹 野 口 善 國 岩 見 屋 健 泉 美 穂 郡 嶋 かおる	河 合 幹 雄 坂 井 一 郎 出 合 均 古 今 亭 菊 千 代 (野 口 泰 代) 山 田 義 俊 近 藤 哲 西 俊 六 永 見 光 章 笠 原 和 男
理 事 (札幌) (仙台) (東京) (名古屋) (大阪) (広島) (高松) (福岡)	大 郷 栄 治 佐 藤 敬 子 阿 部 憲 仁 渡 辺 道 代 勅 使 忍 山 口 明 美 西 井 一 宜 松 本 美 代 子 関 谷 静 司 (以上19名)	森 田 裕 一 郎 山 本 宏 一 松 村 憲 一 白 川 秀 史 平 良 敦 志 池 田 一 (以上20名)
監 事 (東京) (名古屋)	喜 代 多 證 顕 宮 田 修 (以上2名)	

○理事・監事の任期 R 4. 6. 8から2年間 (令和6年度定時評議員会)

○評議員の任期 R 3. 6. 16から4年間 (令和7年度定時評議員会)

令和5年度全国及び各矯正管区管内研修協議会の開催予定

地 区	日 程	場 所
中 央	10月12日(木)	法務省地下大会議室(東京都千代田区)
初任者・リフレッシュ研修	12月5日(火)・ 6日(水)	法務省地下大会議室(東京都千代田区)
札 幌	7月13日(木)・ 14日(金)	アートホテル旭川(北海道旭川市)
仙 台	7月13日(木)	ホテル福島グリーンパレス(福島県福島市)
東 京	11月28日(火)	さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用大会議室 (埼玉県さいたま市)
名古屋	11月21日(火)	プラザ洞津(三重県津市)
大 阪	9月19日(火)	ホテルプリムローズ大阪(大阪府大阪市)
広 島	10月25日(水)	ホテルニュータナカ(山口県山口市)
高 松	11月22日(水)	丸亀オークラホテル(香川県丸亀市)
福 岡	11月15日(水)・ 16日(木)	KKRホテル熊本(熊本県熊本市)

その他の研修等 (参考)

- 教養訓練研修 (各管内協議会で実施) 令和5年9月から令和6年2月
- 連盟第2回常任理事会 令和5年12月6日(水) 法務省地下小会議室
- 連盟第3回常任理事会 令和6年3月18日(月)
法務省14階矯正局会議室
- 連盟第2回理事会 令和5年10月13日(金) 法務省地下小会議室
- 連盟第3回理事会・第2回評議員会 令和6年3月19日(火) 法務省20階第1会議室
- 第5回国内交流研修旅行 (九州方面) 令和5年11月6日(月)～8日(水)

賛助会員名簿

令和5年7月1日現在

施設賛助会員（敬称略）

竹内恵美子（札幌刑務所）
青森県保護司会連合会（青森刑務所）
木村 正明（東北少年院） 徳力 芳子（東北少年院）
倉松 俊弘（栃木刑務所） 黒川 弘照（栃木刑務所）
横山 幸子（栃木刑務所） 川上 克義（新潟刑務所）
さくら市更生保護女性会（喜連川少年院） 高根沢町更生保護女性会（喜連川少年院）
大野 桂子（笠松刑務所） 大野 朋昭（笠松刑務所）
小見山桂子（笠松刑務所） 曾我部卓郎（笠松刑務所）
堀 敦夫（笠松刑務所） 森田 伸宏（笠松刑務所）
伊藤 安信（名古屋刑務所） 小山 祐（名古屋刑務所）
鈴木 克尚（名古屋刑務所） 鳥居 鏝一（名古屋刑務所）
名古屋刑務所篤志面接活動後援会（名古屋刑務所）
豊田信用金庫 三好北支店（名古屋刑務所）
川浦 幸光（湖南学院） 佐野 新一（湖南学院）
田中小夜子（愛知少年院） 中村 富子（愛知少年院）
木村百合子（加古川刑務所） 高崎 長英（加古川刑務所）
五島 一代（大阪拘置所）
金光 英子（岡山刑務所） 本郷 亮（岡山刑務所）
原 るみ（徳島刑務所） 白井 謙二（高松刑務所）
秋山トヨ子（丸亀少女の家） 福本 英子（丸亀少女の家）
伊藤 順子（北九州医療刑務所） ㈱昭和堂（長崎刑務所）
㈱三恵電業ホールディングス（長崎刑務所）
医療法人にじの会 高原内科循環器科医院（長崎刑務所）

三浦 善詔（宮城刑務所）
八幡 則子（東北少年院）
小林 一成（栃木刑務所）
関口 潔（新潟刑務所）
大野 泰宏（笠松刑務所）
永田千代美（笠松刑務所）
中部事務機㈱（笠松刑務所）
近藤 義広（名古屋刑務所）
㈲クオリア（名古屋刑務所）
勅使 忍（名古屋拘置所）
吉田 昭生（湖南学院）
山本佐登史（加古川刑務所）
山田 妙子（丸亀少女の家）
濱田 吉信（福岡少年院）

本部賛助会員（敬称略）

會田 正和（東京都） 荒井 宏子（愛媛県） 石川 淑子（北海道）
泉 美穂（徳島県） 伊藤 嘉章（三重県） 大川 哲次（大阪府）
大塚 啓志（東京都） 大野 文雄（茨城県） 大橋 哲（東京都）
岡本 達也（富山県） 小畑 輝海（東京都） 亀井 史丞（広島県）
川尻 容子（東京都） 久保 義介（京都府） 古賀常次郎（佐賀県）
近藤 哲城（埼玉県） 坂井 一郎（東京都） 佐藤 敬子（岩手県）
佐藤 良彦（東京都） 澤田 健一（東京都） 清水 充江（愛媛県）
舎奈田経夫（東京都） 菅原 祥子（愛媛県） 鈴木 祥祐（東京都）

鈴木 壽子 (東京都)	大郷 栄治 (北海道)	高岡 精司 (東京都)
高橋 博 (神奈川県)	田中 勝彦 (愛媛県)	田中 常弘 (富山県)
勅使 邦江 (愛知県)	東松 磐樹 (愛知県)	富樫 厚治 (北海道)
徳地 昭男 (埼玉県)	富山 聡 (埼玉県)	中川 文隆 (東京都)
中間 敬夫 (神奈川県)	名執 雅子 (東京都)	西井 一宜 (広島県)
沼尾 良一 (栃木県)	南野知恵子 (山口県)	平野 俊興 (千葉県)
廣瀬 玲子 (富山県)	福岡 久 (滋賀県)	福島 照男 (大阪府)
福田 紀夫 (東京都)	藤井 亮俊 (兵庫県)	藤江 道子 (宮城県)
藤代 喜道 (千葉県)	古川 高志 (埼玉県)	保坂東志男 (東京都)
本間 達三 (東京都)	前田 直子 (愛媛県)	松田 昇 (東京都)
宮内 統代 (愛媛県)	宮尾 茂 (東京都)	三宅 正一 (千葉県)
室井 誠一 (東京都)	安田 規浩 (京都府)	山田 義俊 (東京都)
山中 廣司 (東京都)	横田 尤孝 (東京都)	吉澤 崇夫 (栃木県)
渡辺 文夫 (東京都)	渡辺 道代 (東京都)	(株)随喜産業 (東京都)
(株)セレモア (東京都)		

支援団体 (敬称略)

公益財団法人矯正協会
 有限会社矯正弘済会

公益財団法人 J K A
 社会福祉法人東京都共同募金会

有限会社矯正サービス

入院患者を経験して感じたこと

全国篤志面接委員連盟理事長 室 井 誠 一

私事にわたることで恐縮ですが、私が身体の不調を感じたのは、よりによって当連盟の今年度第1回の常任理事会が開催される5月の日の朝のことでした。妻が準備してくれた朝食を取ろうとしたのですが、吐き気がして食べたくないのです。それから出勤するため服を着ようとしたのですが、右の肩から腕にかけて力が入らないのです。上着に右手を通すことに困難を感じただけでなく、歩こうとしても右肩がだらんと下がってしまい、歩き出しにくいのです。結局ソファに身を預けるしかありませんでした。

妻に症状を言って、病院に行つて診てもらうことを伝えると、妻は「駄目よ！ すぐ救急車を呼びましょう！」と言い放ち、すぐに119番通報しました。結果的には妻のこの判断が的確だったのです。

約10分後に救急車が到着し、救急隊員がソファにうづくまる私の症状を見て、M赤十字病院に搬送してくれました。この病院は、救急搬送される重篤な患者に対して高度・専門的な入院医療を行う高度急性期病院で、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）患者に対する集中治療室S C U（Stroke Care Unit）を有しています。私は、すぐに頭部のC T、M R I検査などを受けたところ、「脳梗塞・急性期」との診断でした。

幸いにも、症状としては右の肩から腕にかけての軽い麻痺（右上肢麻痺）だけで、記憶や発語に全く影響がなかっただけでなく、両足の歩行にも影響はありませんでした。奇跡的に軽かったと言えます。それでも、集中治療室に入院し、2日間は検査と再発防止のためにベッドに安静状態とされました。この期間中最もつらかったことはなにかといえば、ベッドの上で排便することでした。看護師さんから尿瓶を渡されたのですが、尿意は催しているものの、何回トライしてみてもとても出すことはできず、結局簡易便座での排便をお願いしました。ナースコールをし、ベッドから出る時には必ず看護師さんに付き添いしてもらい、便座で用を足すことを許可していただきました。意識がはっきりしており羞恥心が強かったため生理現象を抑制していたのだらうと思います。

逆に、うれしかったことはなにかといえば、毎日、朝と夕方、若い女性（スタッフの全員がマスクをしていたので、女性はとりわけ目元が美しく若く見えました。）の看護師さんが私の症状（麻痺の程度）の確認のため左右の人差し指を同じ指で触って動きを確認したり、手を握ってくれたり、付添い介助してくれたりすることでした。気持ちがほっこりして安心し、文字通

りの「手当て」が治療の第一歩ということを思い出しました。また、年甲斐もなく気持ちの高ぶりのようなものも感じました。

3日目からは、一般病棟に移り、リハビリも本格的に始まりました。理学療法士、作業療法士だけでなく言語療法士も加わりました。最初はつらかった右腕の作業にも次第に慣れるようになりました。7日目には院内の階段やエスカレーターも利用して歩行訓練が行われ、9日目に私の今回の入院生活は終了しました。右手は、決して上手ではありませんが（元々、上手ではありません。）、判別できる字をゆっくりと書くこともできるようになりました。

私が9日間の入院期間中に感じたことは、人の命を預かる医療機関として当然といえば当然なのですが、医療もリハビリもケアもそれぞれ専門スタッフがチームを編成して組織的に連携して行われているということです。患者に関するさまざまな情報がスタッフ・ステーションに勤務する関係スタッフの全員に伝達・共有され、治療やリハビリが迅速かつ効果的に進むように配慮されているのです。

今回入院して初めて気づいたことですが、この病院では医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士などの専門スタッフの着ている制服が職種ごとに違うだけでなく、日勤スタッフと夜勤スタッフでも制服の色が違っていたのです。これらの違いは、決して病院の管理的な発想からそうしているのではなく患者さんの目線を大切にし患者さんが安心して入院生活を送れるようにとの配慮からそうしているものと感じることができました。

病気入院は決して経験したいものではありませんが、多くの人が避けられないものでもあります。今回入院して、患者にとって安心して過ごせる入院生活とはどのようなものなのかということについて考えることができました。改めて、今回の入院でお世話になったすべての病院のスタッフに感謝するとともに、急な入院のためご迷惑をかけてしまったすべての関係者の方々に陳謝いたします。

帰宅して、「リハビリ」と言って妻の手を久しぶりに握ってみました。皺やシミが目立つ手でしたが、ほっこりとした温かみを感じました。



事務局から

○令和5年度春の叙勲・褒章について

篤志面接活動の功績が認められ、次の篤志面接委員の方々が瑞宝双光章、藍綬褒章を受けられました（敬称略）。おめでとうございます。

叙勲（瑞宝双光章）	小坂 眞（愛光女子学園）	永山 京子（瀬戸少年院）
褒章（藍綬褒章）	程田健太郎（千葉刑務所）	田中 一郎（愛光女子学園）
	島津 教恵（岩国刑務所）	臼井 雅子（広島少年院）

○物故者

令和5年1月以降にお亡くなりになった篤志面接委員の方は、次のとおりです。

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

5年1月	渡邊 政勝（釧路刑務支所）	松本 哲朗（札幌刑務所）
2月	山陰 進（帯広刑務所）	山本 通秋（札幌刑務所）
3月	松本 英資（静岡刑務所）	伊藤 平八（立川拘置所）
4月	福嶋 正治（大阪刑務所）	
6月	渡辺 礼子（釧路刑務支所）	中角 久典（麓刑務所）

雑記帳

本紙でもご報告したとおり、当連盟の評議員として長くご尽力いただいた千葉紘子氏が退任されました。同氏は、全国のいくつかの女子少年院で篤志面接委員として、合唱指導や個別面接をされておられました。その一つに貴船原少女苑があり、同苑の現在の苑歌の作詞は千葉氏によるものです。

私はその歌詞を初めて拝見したとき、とても鋭い内容にハッといたしました。「たんぼぼの花が白い綿毛になって 空を 青い空を 流れていくよ」と、同苑の周囲ののどかな田園風景を思わせるフレーズから始まる苑歌は、「心の痛みはいくつもあるけど なくならないことも 今は知っている」けれど、「恐れずに踏みだそう 自分の道をつくるため 新しいところは すてきないれもの」と繰り返し呼びかけます。

家庭での親との葛藤や虐待、学校生活でのつまづきや挫折、交友や職場関係でのトラブルなどなど、「こころの痛み」をいくつもいくつも経験してきたであろう少年院の少女たちを前に、それはなくなるとは、簡単な気持ちでは言えません。けれども、改めて考えてみますに、私たちが矯正

施設で立ち直りに向けて模索する人の傍らで思い、願うことは、まさしくこの歌詞のとおり、つらいことや苦しいことの多かった過去と厳しい現在の実情を受け入れた先に、必ずや新しい道が開けるということだと思ったりします。千葉氏は、それをこむつかしい言葉ではなく、たんぼぼの綿毛のように優しく温かい言葉で少女たちに伝え続けておられたように思います。

篤志面接委員活動の他にも多方面でご活躍され多忙な日々の中にあっても、少年院の少女たちに心を寄せ続けてくださった千葉氏に、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



本年3月の評議員会で
退任のご挨拶をされる千葉氏